

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成27年度第2回定例会会議記録
開催日時	平成27年5月20日（水曜日） 午後6時30分から8時55分まで
開催場所	柳沢公民館 第一学習室
出席者	委員：小林克彦、中曽根聡、武司一郎、野間春二、馬場真由美、瀬川容子、糸山時子、真鍋五十鈴、廣田幸雄、石田裕子、松嶋真上田幸夫 職員：伊田館長、矢澤主幹、平井事業係長、小笠原分館長、長谷部分館長、水野分館長、鴨志田分館長、川口主任
欠席者	委員：新藤浩伸、大野雅生
議題	議題1 正副会長の互選 議題2 公民館だより編集委員の選任 議題3 都公連委員部会運営委員等の選任 議題4 文化財保存・活用計画策定委員会の推薦について 議題5 第1回定例会の会議録について 議題6 報告事項 （1）行政報告 （2）公民館だより編集室報告 （3）都公連委員部会運営委員会報告、都公連総会関係、関東甲信越静公民館研究大会報告 （4）公共施設の適正配置報告 （5）事業評価の報告 議題7 事業計画書・事業報告書について 議題8 協議事項 （1）今後の審議の進め方について ・委員座席の確認 ・開催日時 ・記録について（要点録） （2）傍聴人数について 議題9 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 西東京市公民館運営審議会平成27年度第2回定例会次第 資料2 公民館だより編集室報告 資料3 公民館運営審議会委員名簿（第8期） 資料4 平成27年度第1回定例会会議録 資料5 事業計画書と報告書 資料6 西東京市公民館設置及び管理等に関する条例 資料7 西東京市公民館設置及び管理等に関する条例施行規則 資料8 公民館だより 資料9 平成26年度西東京市公民館事業評価表（1次評価案） 資料10 トリターマ
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り（ 3人） 無し
会議内容	
<p>（任命式）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8期委員委嘱状の確認と会長選出まで、館長が司会進行 ・委員名簿順に自己紹介 ・職員の自己紹介 <p>議題1 正副会長の互選</p>	

会長：野間春二 副会長：馬場真由美

議題2 公民館だより編集委員の選任

委員：真鍋五十鈴、石田裕子

議題3 都公連委員部会運営委員の選任

委員：野間春二

議題4 文化財保存・活用計画策定委員会の選任

委員：武司一郎

・設置予定となっている合築複合化基本プラン策定懇談会の委員選任を予め行い、担当部署から依頼があった際に委員として推薦することとし、選出を行う。

参加予定委員：馬場真由美、廣田幸雄

議題5 第1回定例会の記録について

・報告事項の3 P2 事務局会議を運営委員会に訂正
(訂正して、承認。)

議題6 報告事項

(1) 行政報告

・4月28日に、第4回の教育委員会の定例会議が開催された。公民館運営審議会委員の人事案が可決された。

・5月1日付けで組織改正が行われた。教育委員会では、社会教育課の2係が、社会教育係と文化財係に変更。

(2) 公民館だより編集室報告

報告書のとおり編集室からの提案として、公運審コラムの他、新たに7月号から「公運審は今」の新シリーズをスタートしたい。

掲載順については、担当職員が調整し、連絡する旨を確認する。

従来の公運審コラムの字数と同数、記名記事となる。

単なる記録、報告ではなく、委員が直接読者にメッセージを伝える機会を与えられたことは、嬉しいことである。一方、記事内容の発行判断が難しいところがあるので、今後のルールづくりも必要と思われる。

(3) 都公連委員部会運営委員会報告、都公連総会関係、関東甲信越静公民館研究大会報告

1 都公連委員部会運営委員会報告

平成27年5月27日(水曜日)定例会を狛江市で開催予定。

2 都公連総会関係、関東甲信越静公民館研究大会報告

別紙配布のトリターマのとおり

(4) 公共施設の適正配置報告

1 ひばりが丘公民館、谷戸公民館の近接について

2 田無公民館、中央図書館、市民会館の合築複合化について

館長より、新委員の出席があることから、12について前回(4月22日)と同じ説明。

この会議の場でも、慎重に進めていきたい。議事の最大のテーマになっていくことになると思われる。昨年からお願っていた文書が今後は提出されることに感謝したい。昨年のひばりが丘公民館での臨時利用者懇談会の中で、館の利用率が低下していることについてだが、午前午後の区分は高く、夜間区分は確かに利用率が低い。夜間の利用率を含めて平均値でひばりが丘公民館の利用率を論ずる考えはいかがなものかと考える。

この地域では、学童保育所の定員を超えた児童が多く控えている。夕方からは、彼らの利用の受け皿も含め、公民館の利用の弾力的な運用も考えもはどうか。

今年度は、重要な課題で審議が進んでいくと思われる。事務局と正副会長で事前な打合せで、議題をしっかりと詰めていただきたい。

ひばりが丘公民館の分館長引き上げに伴う再雇用職員の検討について、再雇用嘱託員の役割、立場はどのようなものか。

館長：

現在の4名の専門員の職務以外であるところの館の施設管理に関する業務、中央館である柳沢公民館をつなぐ連絡・連携業務、危機管理のサポート業務を担っていただくことを現在考えている。

○委員：

再雇用職員がどのくらいの責任が業務に対して持てるのかを今後は、しっかり明確化してほしい。

○館長

了解。

(5) 事業評価の報告

「資料 平成26年度西東京市公民館事業評価表（1次評価案） のとおり」

議題7 事業計画書・報告書について

平成25年度公民館主催事業企画書（6件）

・ひばりが丘公民館…「科学の本とあそび講座 楽しい実験から理科読も身につけよう!」、「子ども文化体験講座 キッズ茶道体験」、「こわーいお話を聞く会」。

・保谷駅前公民館…「夏休み子ども食育講座」。

・谷戸公民館…「夏休み! 昼の講座」。田無公民館…「食育講座 育メンパパとクッキング 元気野菜の夏料理」

(ひばりが丘)

「子ども文化体験講座 キッズ茶道体験」

○委員：

備考欄に、夏休み子ども体験講座として、谷戸公民館の講座と合同のチラシを作成するとの記載だが、2館に留まらず、全館での夏休みの子ども体験講座を中央館である柳沢公民館が中心に作成してはどうか。

○事務局：

谷戸公民館とひばりが丘公民館が、地域の共通の通学路をイメージして考えた企画である。全館のチラシの件は、今後の柳沢公民館の検討課題としていきたい。

(こわーいお話を聞く会)

○委員：

学習内容の演目は、現在調整中とのことだが、現時点で決定しているのか。

○事務局：

未定。明日、打合せを予定している。

○委員：

講座では、子どもの引き取り確認を実施するとのことだが、その対象年齢は。

○事務局：

小学生は、全員対象となる。

(谷戸)

「夏休み！昼の講座」

○委員：

ねらいの中で、小中学生の利用拡大につなげるとの記載だが、具体的な方法は。

○事務局：

具体的には、ロビーにもっと小中学生をこの講座をきっかけに気軽に継続的に利用してもらうことを考えている。彼らが、今後谷戸公民館にふらっと足を踏み入れる場所を目指したい。

平成25年度公民館主催事業報告書（4件）

- ・芝久保公民館…「食育講座 五感ではじまる食育」。
- ・谷戸公民館…「写真で伝える世界そして東北の今 貧困と災害の取材から」、「障がいを持つ人と共に学ぶ講座 みんなで音楽を楽しもう」、「谷戸市民映画会」

(谷戸)

「写真で伝える世界そして東北の今 貧困と災害の取材から」

○委員：

講座の運営についての評価がBの41パーセントとなっているが、私自身が参加しての感想だが、会場の中での進め方は、良かったと思われる。

○事務局：

この講座は、谷戸公民館職員が全員で当日運営を担ったところだが、開始までに、セッティングに多少もたついたところがあった。

○委員：

この講座のPRの成果はどうだったか。

○事務局：

参加者は、参加定員の40人を上回る59人であったが、中高生の参加がほとんどなかった。学校行事に重なったことも原因で、中高生へのPR効果が出せなかった。

「障がいを持つ人と共に学ぶ講座 みんなで音楽を楽しもう」

○委員：

目標達成度の中で、サポートされる側としてのかかわりではなく、参加者が対等に交流する機会となったとの報告は、素晴らしい成果だったと思う。今後の方向性の文書内容を踏まえ、継続を望む。

議題8 協議事項

(1) 今後の審議の進め方について

- 1 委員座席の確認
 - 2 記録について、要点記録とする
 - 3 開催日時 毎月第3もしくは第4水曜日、午後6時30分から2時間程度、会場：柳沢公民館
- (2) 傍聴人数について 5名から10名をと事務局としては考えている。

議題9 事務連絡及び情報交換

・今後の職員と委員の座席のセットについて。

○委員：

委員と職員の席を完全に分離する案について、事務局に検討してほしい。

○事務局：

検討課題としたい。

○委員：

公民館運営審議会の役割について、研修を事務局で企画してほしい。

○事務局：

了解。検討したい。

次回の日程について

6月24日（水曜日） 午後6時30分

於：柳沢公民館 第一学習室

以上